


NIIGATA SEIRYO NEWS

2021/12 No. 27



小中学生のため看護体験講座
「あなたもわたしも～集まれ未来の看護師さん!」

 新潟青陵大学
新潟青陵大学短期大学部

青空祭2021を開催しました



今年度の青空祭（学園祭）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学内限定の動画配信によるオンライン開催となりました。動画撮影は10月29日（金）～10月31日（日）の3日間にわたり行われました。

～青空祭実行委員長のあいさつ～

今年は青空祭を開催するにあたり、まずコロナ禍という大きな壁にあたりました。本当に開催できるのか、コロナ禍に開催しても良いものなのか、私たち実行委員はミーティングを重ね、「無観客によるオンラインでの開催」を決めました。

昨年度開催できなかった青空祭を今年も開催できないのではないかと心配はありましたが、例年とは違う形を取り、開催することができたことを嬉しく思います。

開催が決まってからは、前例がないことや、ここまで学校行事を行うことができず行事の組み立て方を知らなかったこと、学友会メンバーと会ったことがないこと等、不安でいっぱいでした。

しかし、ほとんど初対面の皆さんと一から作り上げた青空祭は今後経験することのない貴重な経験だったと思います。

感染対策上無観客のため、行うのはステージ発表と展示です。

青空祭で発表をする団体には、多くの迷惑をかけました。無観客なことはもちろん、密を避け、練習時間の制限等がありました。その中で青空祭を盛り上げようと準備を進めてくれた各団体の皆さんには感謝してもきれません。

そして、青空祭が、新型コロナウイルス感染症の影響で外部での

発表の場を奪われてしまった団体の皆さんの力を発揮する場になっていたら幸いです。

ステージ発表では、観客を入れて発表することは叶いませんでしたが、素晴らしい発表がたくさんありました。ステージでの発表だけでなく、展示や、看護学科を含む各団体の紹介動画などもあり、例年とは違う楽しさがあったのではないのでしょうか。動画に収められた各団体の雄姿は一生の宝物となることでしょう。

皆さんのおかげで青空祭を開催することができ、また、無事終わることも出来ました。この青空祭を無事に成功させることができたのは、ご指導いただいた先生方、ステージ発表や展示、動画撮影に参加していただいた学生の皆さん、苦労と喜びを共にした青空祭実行委員の仲間のおかげです。青空祭に関わっていただいたすべての方へ感謝いたします。来年は制限も緩和され、皆さんが作りたいた園祭を作り上げ、盛り上がることをお祈りいたします。

青空祭に関わっていただきありがとうございました。

青空祭実行委員長

大学学友会長 中澤 彩乃

短大学友会長 小野崎 温

2021年度戴帽式を挙行了しました

2021年7月10日（土）、大学看護学科2年生の第21回戴帽式を挙行了しました。例年、5月に多くのご来賓の方やご家族のご列席を賜り行っている戴帽式ですが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に鑑みて、昨年度同様オンライン（Zoom）での挙行となりました。

戴帽式は本格的な実習に向かう前の時期に看護を学ぶ決意を新たにすることを目的にしています。現在、臨床現場ではナースキャップは着用されていませんが、一人ひとりがナースキャップをもらうことで自分達の看護への思いを高めたいと考え、戴帽式を行っています。

本学の戴帽式は、学生主体の実行委員会が教職員のサポートを得ながら企画等を行っています。1年生の12月に実行委員会を立ち上げ、委員長をはじめ16人の委員が中心となり準備を進めてきました。オンライン開催という状況下でも、学生は、自分達の誓いの場に相応しく、また自分達を支えてくださる方々への感謝の気持ちを伝える戴帽式にしたいという思いで検討を重ねました。

戴帽生一人ひとりが自分はどんな看護職になりたいかを考え、「自身の誓いの言葉」に表わし、戴帽生全体で一つの「誓いの言葉」も作り上げました。また、決意の思いを込めたオリジナルコサージュや今までの学習風景を紹介するオープニングムービーを作成しました。さらに、対面でのキャンドルサービスに代わる試みとして、一人ひとりがキャンドルを灯した動画を撮影し、編集により一つのキャンドルセレモニームービーとしてまとめあげました。

戴帽式当日は、画面を通して、91人の戴帽生一人ひとりが力強く「自身の誓いの言葉」を宣誓した後、キャンドルを灯した姿や「全体の誓いの言葉」、アドバイザー教員からの励ましのメッセージがムービーとして上映されました。学長から式辞を戴き、最後に戴帽生代表がお礼の言葉を述べて締めくくられました。

式を終えた戴帽生からは、「誓いの言葉を胸に、これからも頑張ろうと思った」「先生方から温かいメッセージをもらい、あらためて看護の道を歩む決意ができた」などの言葉が多く聞かれ、決意を新たにする機会になったようです。

今後の実習等の大学生活を経て、さらに頼もしく成長していく姿を楽しみにしています。

誓いの言葉

私たち91名は今、この瞬間を迎え
新たな決意と強い意志を胸に
看護の道を歩んでいきます

私たちは確かな知識と質の高い技術を身につけると共に
個人を尊重し、一人一人に寄り添う看護を目指します

看護の道を歩むものとして
笑顔と思いを忘れずに
向上心をもった医療者になります

実習を受け入れてくださる対象者の方々
私たちを支えてくださる先生方、指導者の皆様
そして、家族をはじめとする多くの方々への
感謝の気持ちを忘れません

今日のこの強い決意を胸に刻み
初心を忘れず、仲間と共に切磋琢磨しながら
自分の夢に向かって歩いていくことを誓います

2021年7月吉日
戴帽生一同



本学HPにて
戴帽式式辞を
掲載しております。



戴帽式式辞

小・中学生向けの看護体験講座を開催しました

2021年8月9日（月）、本学で初の企画となる、小学4年生～中学3年生を対象にした、看護体験講座「あなたもわたしも～集まれ未来の看護師さん!」を開催いたしました。

この講座は新潟の未来を担う人材の「キャリア教育」支援を目的とした大学オープンキャンパスの小学生・中学生版です。大変多くの方にお申し込みをいただきましたので、予定していた午後開催に加え、午前も開催し、合計68人の方にご参加いただきました。

参加者の方々には、看護師、保健師、助産師、養護教諭の仕事を実際に大学生が使っている演習室で体験していただきました。赤ちゃん模型の心臓の音を聴診器で聞いたり、模型を使った心臓マッサージ体験等、盛りだくさんの内容でした。各体験のインストラクターは、大学看護学科の3年生が務めました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、フェイスシールドをつけながらの体験となりましたが、皆さんとても楽しんでいただけたようです。参加の記念になるよう、ナース服を着ての記念撮影コーナーを設置したり、最後には修了証書もお渡ししました。

また、キャンパス探検としての図書館の見学や、保護者の方むけ

の進学相談コーナー設置も行いました。保護者の方々には、本学のカリキュラムや受験について知っていただくことができました。

参加していただいた小・中学生の中には「将来は助産師になりたい!」「医療系を目指している!」等、看護・医療系の職業に興味を持っている児童・生徒さんもたくさんおられました。今回の体験を通してさらに深く、興味関心を持っていただけたら幸いです。



SKYキャリアインターンシップイベント2021を開催しました

2021年8月23日(月)～9月17日(金)に新潟国際情報大学、新潟薬科大学、新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部合同の、学生向けキャリア育成セミナーを開催いたしました。

昨年度は中止となりましたが、今年度は株式会社 広報しえん様のご協力のもと、ハイブリッド形式を採用し開催いたしました。

他大学の学生とチームを組んでの情報交換、協力企業様との研修会は、今後就職活動が本格的に始動する大学3年生、短大1年生には有意義であり、本イベントの目的である「協働体験をし、社会人基礎力の醸成を目指す!」に沿ったキャリア形成の一助となりました。

ご協力いただきました企業人事担当者様の温かいご指導ご鞭撻に感謝申し上げます。

本学キャリアセンターでは、コロナ禍においても多様な策を講じ、キャリア支援のさらなる充実を目指し、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」等、学生各々の成長の場の提供を継続してまいります。



※ SKY プロジェクトとは

新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部「S」、新潟国際情報大学「K」、新潟薬科大学・新潟工業短期大学「Y」を連携の基本とし、教育、研究、社会貢献、学生支援等、それぞれの特色や資源を活かした取組みを共同で推進し、自治体、経済団体及び企業とも連携を深め、高等教育機関の活性化と地域の発展に貢献することを目的としています。



学生制作フリーペーパー「Ricerca vol.3」を発行しました

2021年11月、新潟日報社との社会連携事業 学生制作フリーペーパー「Ricerca vol.3」を発行しました。

Ricercaは本学社会連携センターが企画・運営し、メンバー募集に応じた県内の学生が制作する、新潟の魅力伝えるフリーペーパーです。株式会社新潟日报社様、株式会社第一印刷所様のご協力のもと、構成の検討、取材、編集、SNSでの情報発信、広報まですべて学生が主体となって行います。

今回は県内8校の高等教育機関(新潟県立大学、長岡造形大学、新潟国際情報大学、新潟薬科大学、長岡大学、新潟青陵大学、新潟青陵大学短期大学部、長岡工業高等専門学校)から総勢35名の学生が参加しました。

11月6日(土)には、新潟日報メディアシップ1Fみなと広場にて配布会を行い、学生が企画したクイズやガラポン大会等も開催、多くの方にご参加いただきました。

冊子は本学やメディアシップにも設置していますので、見かけた際はぜひお手に取ってご覧ください。



Twitter Instagram

大学保護者懇談会をオンラインで開催しました

2021年6月7日(月)～6月18日(金)、大学保護者懇談会をオンラインで開催いたしました。(短期大学部は11月対面で実施)

例年6月初旬に開催している、キャリア支援に関する「大学保護者懇談会」を本年度は新型コロナウイルス感染症第4波の影響に鑑み、対面式では実施せず、保護者の皆様が非対面(オンライン)で適宜確認出来るよう、学校ホームページに特設ページを設けました。特設ページでは、就職活動を行う学生への接し方指南に重点を置いた内容で動画を取りまとめ、配信いたしました。

ご視聴いただきました皆様の今後のキャリア支援の一助となれば有難次第です。

本学のキャリア支援、学生支援は、コロナ禍においても対面、非対面(オンライン)を組み合わせることで、滞りなく継続し、強化を行っております。引き続き学生各々が、キャリア支援の充実、キャンパスライフの充実、社会人としての羽ばたき、活躍ができるよう、

目標達成のための行動力・会話力・コミュニケーション能力等、主体性を発揮できる力を伸ばすキャリア支援、学生支援に努めてまいります。

◆ 2021年度大学保護者懇談会特設ページ内容◆

- ① 保護者の接し方指南動画
- ② 2021年度就活動向について(新潟県内版)
- ③ 2021年度就活動向について(全国版)



2021年度前期インクルージョン講座を開講しました



ふわりとつむ新潟青陵インクルージョン講座は本学社会連携センター主催の公開講座です。「インクルージョン(ふわりとつむ)」をキーワードとし、本学ならではの特色ある内容で市民の方々へ講座を開講しております。

2021年度前期は、第1回を7月3日(土)、第2回を8月21日(土)に開講いたしました。

第1回は「子どもたちの居場所づくり」をテーマとして、本学の学生も運営している「そらいろ子ども食堂」の取り組み紹介や、子どもが安全にインターネットを利用するための、ネットリテラシー入門講座が開かれました。

第2回目は「様々な背景をもつ子どもの理解」がテーマでした。重症疾患で入院する子どもたちについての講座を開き、実際に子どもが入院した親の立場からの体験談も聞きながら、学びを深めました。また、「子どもたちの悩みに寄り添う心理学」と題して、様々な悩みを抱える子どもたちについて、心理学の観点で考える講座も開かれました。

本講座は、BSN様(株式会社新潟放送)に共催いただいております。前期は2回ともBSNアナウンサーをお招きし、司会を務めていただきました。

両講座とも講師と司会者の掛け合いもあり、参加者の方々からのアンケート結果を見ると、非常に満足いただけたようでした。

インクルージョン講座は引き続き開講していきます。機会がございましたらぜひ、ご参加ください。



最新情報は本学ホームページから / 公開講座で案内



学生感染対策ボランティアスタッフ「ICC」が活動しています

学内で新型コロナウイルス感染症予防のため活動している、学生感染対策ボランティアスタッフ「ICC: Infection Control Crew」(以下、ICC)についてご紹介します。

ICCは、新型コロナウイルス感染症予防に対する意識向上を目的として、学生生活について担当する学生委員会から発案されました。

活動内容は、①感染症予防の注意喚起を促す学内放送 ②学内の巡回および感染症対策の環境整備(部屋の換気、アルコール及びティッシュペーパーの補充) ③食事禁止場所での食事に対する啓発活動(食事禁止ポスターの作成、掲示)の三つです。

活動は学生主体で行われ、学生委員会に所属する教職員からのフォローは最低限に留めています。

食事禁止の場所で食事をしている人がいること等の、巡回をしていて見つけた問題点は、メンバーで共有し、改善策を検討・実施しています。

今後も、ICCは活動を継続していく予定です。



関 昭一 学校法人新潟青陵学園理事長・新潟青陵大学短期大学部学長逝去のお知らせ



本学園 関 昭一 理事長・短期大学部学長が、2021年6月24日、行年93歳にて永眠いたしました。ここに生前のご厚誼に深く感謝いたしますとともに、謹んでお知らせ申し上げます。

近年では、地域包括ケアシステムとその拠点としての在宅医療に強い関心を寄せられ、本学の学びへの導入に強い意欲を見せられていました。フランスの詩人レイ・アラゴンの詩の一節『教えることは希望を語ること、学ぶとは誠実を胸に刻むこと』を深く愛され、常に学園教職員にその姿勢を求められました。この言葉は、新潟青陵大学図書館2階のガラスの壁に刻まれています。

在任中に取り組みされた主な事業は下記の通りです。

- 1996年 短期大学に福祉心理学科、国際文化学科を設置
- 2000年 新潟県内初の4年制看護学部を持つ大学として、新潟青陵大学を設置
- 2004年 短期大学部に日本海側初となる地域総合学科である人間総合学科を設置
- 2006年 新潟青陵大学大学院 臨床心理学研究科（修士課程）を設置（公益財団法人日本臨床心理師資格認定協会第一種指定大学院）
- 2008年 新潟青陵大学 認定看護師研修センターを設置（日本海側初）（平成24年3月休校）
- 2014年 新潟青陵大学大学院 看護学研究科（修士課程）を設置

関 昭一理事長・短期大学部学長は、東京帝国大学卒業後自治省（現在の総務省）に入省。1975年10月に自治省課長から新潟県副知事に就任され、君健男知事時代の2期8年間副知事を務められました。1993年に新潟青陵女子短期大学（現新潟青陵大学短期大学部）学長として学園に着任、1996年の新潟青陵学園理事長就任以来、積極的に経営改革に取り組み、現在の新潟青陵学園発展の礎を作られました。

地域の医療・福祉に深い関心を寄せられ、看護師不足の解消と看護教育の高度化のため、2000年に新潟県内初の4年制看護学部を持つ大学として、新潟青陵大学を開設されました。また、自殺率の高い本県の状況改善のため、臨床心理師の資格取得が可能な大学院を2006年に開設したほか、2008年には、日本海側初となる日本看護協会認定看護師（皮膚・排せつケア）養成施設を設置し、多くの専門的スキルを持った人材を地域に送り出しました。

諫山 正 学校法人新潟青陵学園常務理事・元新潟青陵大学学長逝去のお知らせ



本学園 諫山 正 常務理事・元新潟青陵大学学長が、2021年9月3日、行年87歳にて永眠いたしました。ここに生前のご厚誼に深く感謝いたしますとともに、謹んでお知らせ申し上げます。

くりを目指されてきました。また、経営が健全なときこそイノベーションが必要であるとの考えのもと、専門性の深化のため大学院看護学研究科設置や学部分離改組を実現されました。新潟青陵大学学長退任後は、学園学事顧問を経て学園常務理事として理事長を補佐され、学園運営と将来を見据えての体制整備に取り組まれていました。

在任中に取り組みされた主な事業は下記の通りです。

- 2013年 新潟日报社「メディアシップ」内に、サテライトキャンパス「4大学メディアキャンパス」を長岡造形大学・新潟薬科大学・新潟青陵大学短期大学部とともに開設
- 2014年 新潟青陵大学大学院 看護学研究科（修士課程）を設置
- 2015年 新潟青陵大学 看護福祉心理学部を看護学部及び福祉心理学部の2学部（3学科）に分離改組
- 2015年 新潟青陵大学及び新潟青陵大学短期大学部に地域貢献センター（現：社会連携センター）を開設
- 2015年 新潟都市圏を拠点とする専門性の異なる6大学2短期大学からなる「新潟都市圏大学連合」を構想。結成後は代表大学の学長として運営に尽力

諫山常務理事は、経済政策や財政・公共経済がご専門で、東京教育大学大学院博士課程を修了ののち国立新潟大学に着任、経済学部学長などを務められ、2001年新潟大学退官を機に新潟青陵女子短期大学（当時）教授に就任いただきました。

短期大学では国際文化学科長を務められ、国際文化学科と生活文化学科をベースとする人間総合学科の設置に取り組まれました。

2011年4月からは新潟青陵大学学長に就任、2期8年の在任中、「ケアの心を備えた人材の育成」を掲げ、地域のニーズに根差した教育環境の整備に尽力されました。

国内外の大学や地域社会との連携を積極的に進められ、新潟都市圏を拠点とする専門性の異なる中小規模大学が相互に連携するとともに、新潟市とも連携することにより、人材育成や地域福祉などの分野で地域活性化に貢献することを目的に「新潟都市圏大学連合」構想を立案、その実現と運営に注力するなど、社会に開かれた大学づ

新潟青陵学会第13回学術集会を開催しました

2021年11月6日（土）、新潟青陵学会第13回学術集会を開催いたしました。2020年に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となり、今年度オンラインでのライブ配信にて開催いたしました。これまで本学会としては取り組んだことのない開催形式となりましたが、学生や学会員の参加のほかに学外からの参加も多く、全体で約300名の参加者でした。オンライン開催とすることにより、気軽に、また身近に学会を感じていただけたのではないかと思います。

今回の学術集会メインテーマは「再考!いのちに寄りそう視点 子ども虐待の予防と家族支援」とし、基調講演には、武蔵野大学大学院 地域看護学研究科 中板 育美 教授をお招きして、「私だつて愛したい!『親』の傍にいる意味 -愛されたかった親たちへ-」をテーマにご講演いただきました。中板先生からは、保健師としての現場感覚を大切に、多くの実践に取り組まれているご経験と長年の研究成果から得た知見をもとに、対象者を尊重した関わり方等多くの示唆に富んだお話をお聞きすることができました。

午後のシンポジウムでは、新潟青陵大学大学院 看護学研究科・新潟青陵大学 看護学部 看護学科 坪川トモ子 教授の司会進行のもと、看護・社会福祉・臨床心理の各分野の専門のお立場から「子どもの健やかな育ちのための親支援」をテーマに、新潟青陵大学大学院 臨床心理学研究科・新潟青陵大学 福祉心理学部 臨床心理学 伊藤 真理子 教授、新潟市西蒲区 健康福祉課 巻地域保健福

祉センター 所長 阿部 公恵 先生、新潟市児童相談所 家庭支援課 課長補佐 地引 文貴 先生からご発表いただき、参加者の皆様と活発な意見交換を行うことができました。

また、一般演題は初めての試みとして口演というスタイルで行い、多様なテーマでの発表がありました。発表者は在校生や地域で活躍している方であり、多くの方に参加していただき、活発な議論が行われました。

今回の学術集会は、オンライン開催や一般口演 等、初めての事づくしでしたが、準備の段階から当日まで皆様の多大なるご協力をいただき、盛況のうちに終えることができましたことを心より御礼申し上げます。

新潟青陵学会 第13回学術集会長 池田かよ子



武蔵野大学大学院 中板 育美 教授による基調講演の様子

上原 喜美子 准教授が日本看護協会より「専門看護師」認定資格を更新されました

新潟青陵大学大学院 看護学研究科・新潟青陵大学 看護学部 看護学科 上原 喜美子 准教授が日本看護協会より「専門看護師 (Certified Nurse Specialist)」の認定資格を更新されました。専門看護分野は「慢性疾患看護 (Chronic Care Nursing)」です。

専門看護師は、水準の高い看護を効率よく行うための技術と知識を深め、卓越した看護を実践できると認められた看護師です。「専門看護分野」ごとに日本看護協会が認定しています。

上原准教授の専門分野である「慢性疾患看護」は、生活習慣病の予防や、慢性的な心身の不調とともに生きる人々に対する慢性疾患の管理、健康増進、療養支援などに関する水準の高い看護を

行います。資格認定を得るには、看護師として5年以上の実践経験を持ち、看護系の大学院で修士課程を修了して必要な単位を取得した後に、専門看護師認定審査に合格する必要があります。審査合格後は専門看護師としての活動と自己研鑽の実績を重ね、5年ごとに資格を更新しています。2021年12月2日現在、2,714人の専門看護師が全国で活動しています。（新潟県内では38人）

出典：公益社団法人日本看護協会ホームページ <https://nintei.nurse.or.jp/nursing/qualification/cns>



浅田 剛正 准教授が新潟県警察本部より「感謝状」を授与されました

新潟青陵大学大学院 臨床心理学研究科・新潟青陵大学 福祉心理学部 臨床心理学 浅田 剛正 准教授が新潟県警察本部より「感謝状」を授与されました。

浅田准教授は、事件被害者の置かれた心理や性加害の影響等に関する臨床心理学の専門的識見を活かし、事件解明に貢献されてきました。

感謝状を授与され、浅田准教授は、「私の臨床心理士としての専門業務をこのような形でご評価いただけたことを大変嬉しく思います。昨今の時代の変化に応じ、警察もより複雑な事件や困難な問題に取り組んでおられます。とくにここ数年ご一緒させていただ

いた刑事の方々、またカウンセリングアドバイザーとして関わらせていただいている犯罪被害者支援室の方々をはじめ警察関係者の多大なご尽力には、こちらからも感謝と敬意をお伝えしたいです。一般の方にはわかりにくいと言われがちな臨床心理学は、同じく物証を示しにくい被害者の心の声に耳を傾けるための学問です。今回のことを糧に、引き続きお力になれるよう研究と研鑽を積み、後進の養成にも励んで参ります。」と述べています。



2021年度 行政保健師採用試験合格状況（2021.11.30 現在）

本学看護学科の保健師課程では、様々な分野の実務経験を持つ教員による実践的な指導のもと、地域に暮らす人々の健康課題に対応した看護活動を学んでいきます。採用試験や国家試験対策へのサポートにも力を入れ、めざす将来の実現に向けて丁寧に指導を行なっています。

今年度は2021年11月30日現在で現役学生計4人が行政保健師採用試験に合格しています。

【県内】3人 | 五泉市…1人, 村上市…1人, 見附市…1人

【県外】1人 | 東京都板橋区…1人



2021年度 養護教諭教員採用試験合格状況

本学看護学科には、養護教諭一種免許を取得するコースがあります。本学は人数制限を設けず、所定科目の単位を取れば免許状を取得できることを特徴としています。充実した教員採用試験対策講座に加え、卒業後のサポートも行い、実践力を身につけた養護教諭を育成しています。

今年度は計11人（既卒者含む）が合格しました。

【県内】10人 | 新潟県…現役学生2人 / 卒業生3人, 新潟市…現役学生1人 / 卒業生4人

【県外】1人 | 山形県…現役学生1人



特別受講生制度のご案内

新潟青陵大学（看護学部・福祉心理学部）および新潟青陵大学短期大学部（人間総合学科・幼児教育学科）では、地域社会に開かれた大学として継続的・体系的な生涯学習の提供をめざし、特別受講生制度を実施しております。この制度は、地域の皆様のご期待と日頃からのご支援にお応えするため、両大学の授業科目の一部を公開し、学生と一緒に学んでいただくものです。

2021年度は、新型コロナウイルス感染症が終息しない中での実施はリスクが高いと判断し、2020年度に引き続き特別受講生受入れを中止いたしました。2022年度前期につきましては、今後の推移を見たとえで特別受講生受入れの可否を判断いたします。本制度が再開いたしましたら、本学ホームページ（右記QRコード）より改めて皆様にご案内をさせていただきますので、ご都合がつくようでしたら是非ご参加いただけますと幸いです。

引き続き、本学へのご理解とお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。



特別受講生制度のご案内

退職教職員

松本 あゆみ キャリアセンター キャリア支援課 主幹

最新情報はこちらから



本学ホームページ



COVID-19 本学の対応



公式 facebook

編集後記

NIIGATA SEIRYO NEWS 2021/12 December No.27

コロナ禍収束の兆しが見えなかった今夏、本学は大きな試練に見舞われました。6月に長年本学園理事長及び短期大学部学長を務められた関昭一先生が、9月に元新潟青陵大学学長で学園常務理事の諫山正先生が相次いで死去されたことです。お二人の本学への貢献に感謝し、改めてご冥福をお祈りいたしたく存じます。しかしながら、この悲しみとコロナ禍を乗り越え、本学は学生や地域の皆様とともに歩みを続けてい

ます。大きく利用の進んだ遠隔授業等のリモート技術や感染対策の知見を活かして様々なイベントや取り組みを実施し、11月からは対面授業も全面再開いたしました。キャンパス再整備も年内には完了し、さらには新しい学科や履修分野の設置に向けての準備も進行中です。コロナ後を見据え努力を続けてまいりますので、どうぞ引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。
(事務局長 栗林 克礼)